

講演会

# 高次脳機能障害を生きる

～当事者と家族～

2016年 9月4日[日] 午後1時～4時

大阪YMCA会館・ホール 大阪市西区土佐堀1-5-6 (電話06-6441-0893)

■定員/500人(先着順) ■参加費/1人 1,000円(当日会場で)

主催 社会福祉法人 朝日新聞厚生文化事業団

後援 NPO法人 日本脳外傷友の会/頭部外傷や病気による後遺症をもつ若者と家族の会/NPO法人 大阪脳損傷者サポートセンター  
堺脳損傷協会/豊中脳損傷家族会「アンダンテ」/公益財団法人 大同生命厚生事業団



高次脳機能障害とその家族を  
どのように支援すればよいのでしょうか？  
交通事故や病気で受傷することで、  
当事者や家族が障害とどのように向き合えばよいのかを  
支援者とともに考えます。

# 高次脳機能障害を生きる ～当事者と家族～

## プログラム

- 13:00-13:45 基調講演  
『高次脳機能障害を生きる』  
先崎 章さん
- 
- 13:45-14:15 『私の言いたいこと』  
小林 春彦さん 茅原 ゆかりさん
- 
- 休憩
- 
- 14:30-15:00 鼎談  
『見えない障害と生きる』  
小林 春彦さん 茅原 ゆかりさん  
橋本 圭司さん
- 
- 15:00-16:00 シンポジウム  
『共に生きる～家族の支え』  
橋本 圭司さん 濱田 小夜子さん  
納谷 保子さん 先崎 章さん

- 交通アクセス 地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅3号出口から徒歩5分  
地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅4号出口から徒歩12分  
京阪本線・中之島線「渡辺橋」駅7番出口から徒歩11分



## 申込方法

参加希望のすべての方の ①お名前（ふりがな）②〒・住所 ③TEL・FAX ④職業を明記の上、下記までFAXかはがき、メールのいずれかでお申し込みください。

ホームページからも申し込みができます。

申し込み受け付け後、聴講券をお送りします。参加費（1,000円）は、当日会場でお支払いください。

## ■申込先／お問い合わせは

〒530-8211大阪市北区中之島2-3-18  
朝日新聞厚生文化事業団「高次脳」係  
Tel.06-6201-8008 Fax.06-6231-3004  
E-mail: kojinou-o@asahi-welfare.or.jp  
http://www.asahi-welfare.or.jp/

## 講師・パネラーのご紹介

せんざき あきら  
先崎 章さん

東京福祉大学社会福祉学部教授（精神科医）

1986年東京医科歯科大学卒業。88年静和会浅井病院精神科医長、92年東京医科歯科大学医学部附属病院精神科神経科医員、94年埼玉県総合リハビリテーションセンター神経科・精神科医長。埼玉県知的障害者更生相談所を兼務。99年都立豊島病院神経科医長を経て、2000年埼玉県総合リハビリテーションセンター地域支援担当部長など。専門外来で高次脳機能障害の人を多数治療している。09年から現職。

はしもと けいじ  
橋本 圭司さん

はしもとクリニック経堂院長

1998年東京慈恵会医科大学卒業。東京都リハビリテーション病院、神奈川県リハビリテーション病院、東京慈恵会医科大学附属病院などで、数多くの高次脳機能障害の人の治療を経験。2009年国立成育医療研究センター・リハビリテーション科医長、16年はしもとクリニック経堂院長。NPO高次脳機能障害支援ネット理事長としても活動している。

こばやし はるひこ  
小林 春彦さん

高次脳機能障害当事者

（東京大学先端科学研究センターDO-IT Japan」リーダー）

2005年5月、「右中大脳動脈閉塞症・広範囲脳梗塞」を発症し高次脳機能障害に。3年の闘病生活を経て半身不随など一部の障害を克服するが、外見からは困難がわからない障害に苦しむ。現在東京大学先端科学研究センター「DO-IT」リーダーとして全国で講演会活動を行っている。著書に「18歳のビッグバン～見えない障害を抱えて生きるということ」（2015年あけび書房）

かやはら  
茅原 ゆかりさん

高次脳機能障害当事者（臨床美術士）

2005年大阪芸術大学在学中、交通事故により高次脳機能障害に。半年後にリハビリを兼ね復学。以前とは変わった自分に戸惑い留年するが、どうにか卒業でき、その後臨床美術を学ぶ。11年デンマークのエグモントホイスコーレ校に入学、翌年帰国。サンフランシスコやデンマークで後遺症と生きる方法を模索。現在、「Egmont nature～デンマークで過ごした一年間の記録～」写真展を全国で巡回しながら、定期クラスやワークショップで、ピアカウンセリングのように臨床美術クラスを行っている。

はまだ さよこ  
濱田 小夜子さん

NPO法人高次脳機能障害サポートネットひろしま 理事長

1993年次女が交通事故に遭う。2001年9月家族会（脳外傷友の会広島シェイキングハンズ）を設立し会長就任。04年任意作業所クラブハウス・シェイキングハンズを開設。06年NPO法人高次脳機能障害サポートネットひろしまを設立し11年家族会を法人組織に統合。

なや やすこ  
納谷 保子さん

堺脳損傷協会会長

1999年長男が交通事故に遭い、脳損傷の家族になる。当初、悲嘆にくれた私たち夫婦の気持ちを救ってくれたのが、同じ経験をした人の話だった。その経験から家族会には果たすべき役割があると考え、2006年に家族の会を立ち上げた。活動内容は、当事者・家族の交流会、リハビリを兼ねた活動、情報発信、啓発活動、行政への要望など